

Matsushima News



2024.新年号 vol.35



謹賀新年

松島病院は今年 100 周年を迎えます



医療法人 恵仁会 松島病院大腸肛門病センター

～ 新年のご挨拶 ～



恵仁会理事長 松島誠



恭しく新春のお慶びを申し上げます

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

さて、1924年9月に横浜市西区伊勢町に松島病院として開院した松島病院

大腸肛門病センターは、本年創立100周年を迎えます。これもひとえに患者様はじめ、地域の先生方や関係者の方々、そして共に働く職員諸氏のおかげと、心より感謝申し上げます。

外科・内科・肛門科で開業した初代院長松島善三は、1930年頃すでに地域の肛門病専門医院として信頼を得、多くの患者様の治療を行っておりました。その後の100年という長い道のりの中で、肛門病で悩む患者様一人一人の思いをしっかりと受け止めてきた松島病院は、これからも変わることなく肛門疾患を中心に据え、そこから関連する領域の医療（胃・大腸疾患の診断治療、便秘や下痢、直腸脱手術など排便機能障害、炎症性腸疾患、人間ドック）のスペシャリストとして、患者様の健康な生活を守る信頼される病院として邁進してまいります。

皆様に近況のご報告を申し上げます。

【新病院開院】

恵仁会松島病院は昨年2023年5月、肛門科診療のさらなる発展進歩を目指して新病院を開院いたしました。消化管内視鏡検査専門診療施設「松島クリニック」を統合し、大腸肛門病診療をワンストップで行えるようになっております。受診される患者様はもちろん、地域の方々の疾病予防・健康の維持増進のため、より安全快適に診療を行える新病院で、最新で最善な医療を行っております。

【腹腔鏡手術】

人生100年時代といわれる我が国において増加する疾患の一つ「直腸脱」で悩まれる人々の健康で活動的な日常を取り戻すため、低侵襲な手術を行うだけでなく集約的な専門治療を行っております。

ここに新年のご挨拶を申し上げるとともに、本年が皆様にとって幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



恵仁会副理事長 西野晴夫



明けましておめでとうございます。

昨年も大きなニュースが数多くありましたが、私達にとっては新型コロナウイルス

感染症が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことが一番の重大ニュースといえるのではないのでしょうか。三年以上に渡り日本だけでなく世界中の人々の生活が制限され、人生が大きく変わった方も多数いらしたと思われれます。また一方で、世界では再び悲しい苦難の戦争が各地で起こっております。平和な時代はいつになったら訪れるのでしょうか。

松島病院グループでは昨年5月、肛門科専門病院の松島病院と消化器内視鏡、腸疾患外来を中心とした松島クリニックが一つに統合され、「新松島病院」として移転開業いたしました。36年間同じグループとはいえ、独立した診療形態をとっていた二つの施設が一つになり、新しい施設に移った訳ですから病院造りを新たにしていける必要があります。まずは患者様にとって受診しやすい環境作り、待ち時間が短く大腸肛門科が一体となった診療体制、そして専門性に特化しながらも笑顔でやさしい病院にしていかななくてはなりません。このためには職員の働きやすさも追求する必要があります。今年は皆様のご期待に添える病院としてさらなる努力をしてまいります。そのための多くのご意見を是非ともお待ちしております。

本年も皆様にとって健康で幸せな一年となりますよう祈念いたしまして私の新年のご挨拶とさせていただきます。

～ 新年のご挨拶 ～



松島病院院長 宮島伸宜



明けましておめでとうございます。皆様にとりまして素晴らしい年でありますように祈念申し上げます。

松島病院は旧松島病院と松島クリニックが統合し、新生松島病院として昨年5月に新築の病院に移転いたしました。戸部駅から約5分の立地で、旧松島病院と松島クリニックの中間の位置で交通の便も良いと自負しています。旧病院、クリニックの移転の際には診療制限を行わざるをえず、多くの患者様にご不便とご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。新病院となって、胃腸科と肛門科が同じフロアで診療を行っていますので、診療、内視鏡予約などが簡便に同じ場所で行う事ができるようになりました。システムの統合の子細な部分を改善しながらよりよい診療環境を整えて参ります。

松島病院は今年、創立100周年を迎えます。これも偏に皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。長い歴史を基にしてこれからも最良の医療を提供できますように職員一層努力するとともに新しい取り組みも始めてまいります。多くのニーズにお応えするべく初診の女性医師による診療を開始いたします。また、これまで行う事ができなかった直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術も開始いたします。これらの取り組みは多くの患者様のメリットになるものと確信しています。

松島病院は次の100年に向けてさらなる発展を目指し、職員一同奮励努力して参る所存であります。松島病院へのご指導、ご支援をお願い申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。



松島クリニック汐留院長 高橋敬二



新年明けましておめでとうございます。

あっという間の1年がまた過ぎて行きました。

昨年を振り返ると様々な出来事がありましたが、特にWBC（野球の世界大会）は見応えがありました。「純粋な日本人」を最近「純ジャパ」と言うらしいですが、国際試合ともなれば純ジャパの血が騒ぎ、熱い声援をテレビの前で送ります。昨年はWBCをはじめ、バレーボールもラグビーも卓球も、若い選手たちの真剣な眼差しにたくさんの感動をもらいました。

私がひと様を感動させられることがあるだろうか、と考えてみました。私は内視鏡一筋、今年で約30年、計算すると延べ約5万件以上の内視鏡検査を実施したことになります。ここまで膨大な数の経験を積めたのは、やはり大腸・肛門病の松島病院だからこそです。私には天職だ、と感謝の日々です。

内視鏡検査で患者様を感動させたことがあるだろうか、患者様を感動させる内視鏡とは何かと考えたとき、知識と経験、技術だけではなく、患者様の気持ちに寄り添うことが不可欠だと思います。

松島病院が今年100周年を迎えられるのは「楽だった」「痛みがなかった」の感動体験があったからこそ、だと思います。職員の一人として、次の100年につながる仕事をこれからも丁寧にしていく所存です。

今年も皆様のご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。



松島病院からのお知らせ

2023年10月29日（日）第3回 松島病院 市民公開講座「おしりとおなかの健康セミナー」を開催しました。桜木町駅近くの県民共済みらいホールに約100名の市民の方々にご参加頂き、紅谷医師からは「人には聞けないおしりとうんちの話」、松島理事長からは「その出血、痔だと決めつけていませんか？part2」と題して講演を行いました。排便アドバイザーの看護師などによる相談コーナーは、おしりや排便のお悩みなどを直接相談できる機会であり順番待ちになるほど盛況でした。タカナシ乳業様協賛の飲むヨーグルトも好評でした♪



『飛兔』松島病院の飛躍を祈念して

スタッフがおススメするご近所探訪！ Vol.3

鮨 鈴な凜(すずなり)

京急戸部駅と横浜市営地下鉄ブルーライン高島町駅のほぼ真ん中、国道沿いにある隠れ家的なお寿司屋さん。

ここにお寿司屋さん？と最初はちょっと入りにくいビルの2階ではありますが、外階段を上がり、のれんをくぐると、明るく広い店内にはカウンターとテーブルが十分なゆとりをもって配置されていて、落ち着いて本格的なお寿司が食べられるお店です。石川県産コシヒカリを砂糖を使わず赤酢でつくったシャリと、島根や石川の良質な漁場から届く魚がこの店の特徴。ちなみにガリも赤酢で作られているので、やさしい酸味のコクのあるガリはそれだけで酒の肴に。

カウンターで大将の職人技を見ながら旬の魚の寿司をつまむもよし、テーブル席で寿司にあう日本酒を呑みながら語らうもよし。ひとりでふらりとランチに立ち寄るもよし。6名まで可能な個室もあるので、家族や友人・同僚と一緒においしいお寿司や和食を他のお客さんを気にせず気兼ねなく楽しむことも。こんな“いきつけの寿司屋”いかがですか？

ランチは1人前10貫に茶わん蒸しとお椀が付いて2000円。海鮮丼(2000円)やばらちらし(2000円)など。

夜はおまかせのコースが6600円から。好きなお寿司はお好みで。特別な日にはお店自慢の刺し盛りもぜひ♪

営業時間： 11:30~13:30 / 17:30~22:30

横浜市西区戸部本町 51-9 ながせ高島町ビル2F

店休日・予約・相談・お問い合わせ ☎045-620-8621



編集後記：こんにちは「飛兔」です。私はどこにいるでしょう？恥ずかしいので、見つけても写真撮影はご遠慮くださいね

発行：松島病院広報委員会 横浜市西区戸部本町 9-11 電話 045-321-7311 (代)

